

米国アカデミー賞公認 アジア最大級の国際短編映画祭ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2019

今年のベストオブベストは？ 国内・海外の観光映像大賞ファイナリストを発表！

国内は芸人出演のカラオケ風動画やおじさんサーファーのリアリティショーなど巧みな演出の10作品

海外は日本初公開！クロコダイル・ダンディーのパロディーや
プライドパレードの感動ドキュメンタリーなど注目の5作品

今年21年目を迎える米国アカデミー賞公認、アジア最大級の国際短編映画祭ショートショート フィルムフェスティバル & アジア (SSFF & ASIA)は、国内外の観光プロモーション映像を映画祭の視点で選考した、映画的魅力にあふれた作品を表彰する第8回観光映像大賞の国内10作品、海外5作品のファイナリストを発表いたします。

国内、海外（日本語字幕付き）ともにファイナリスト作品は、映画祭と連動し観光映像を年間を通じて紹介・発信する「旅もじゃサイト」(<http://www.tabimoja.com/kankou8/>)にて本日より公開。

5月29日の映画祭オープニングセレモニーにて各優秀賞を発表いたします。

年々人気を博す国内の観光プロモーション映像は、2018年8月1日～2019年3月末までの公募に313作品が集まり、期間中3回にわたる旅もじゃ賞10点を選定。その中から、映画祭実行委員会と観光映像大賞を後援する観光庁がファイナリストとして10作品を選定いたしました。沖縄県北中城村を舞台にした59分の超大作『きたなかスケッチ』や、芸人の和牛が熱唱する愛媛のカラオケ風動画作品『疲れたら、愛媛。』、おじさん達のサーファー体験を追う日向のリアリティショー的作品など、各地の趣向を凝らした作品が揃いました。

インターナショナル観光映像は映画祭がキュレーションした作品をTime Out Tokyo、TABIZINE、TABIPPO、トリップアドバイザーの各代表およびVisit Japan大使が審査。映画『クロコダイル・ダンディー』のパロディー作品でクリス・ヘムズワース（『マイティ・ソー』）が出演するオーストラリアの作品がファイナリスト作品として、字幕付きで日本初公開となるほか、プライドパレードの参加者を追ってノルウェーという国の姿勢をアピールするドキュメンタリー作品など、国内とはまた異なる手法で魅せる作品が揃いました。旅気分を盛り上げつつ、最新の観光映像事情をお楽しみいただけるラインナップをぜひご紹介ください。

国内作品 ※一部抜粋



『きたなかスケッチ』 沖縄県北中城村



『疲れたら、愛媛。』 愛媛県



『ヒュー！日向でおじさんサーフィンデビュー
～THREE OJISAN RELAX IN HYUGA～』
宮崎県日向市

海外作品 ※一部抜粋



『Tourism Australia Dundee Super Bowl
Ad 2018 w/ Chris Hemsworth and
Danny McBride (Extended)』
オーストラリア



『The Proud Experience』
ノルウェー



『Meet South Africa. Bheki the Mbhaco Maker.』
南アフリカ

観光映像大賞に関するお問い合わせ：ショートショート実行委員会 青目

TEL：03-5474-8844 / FAX：03-5474-8202 E-mail：kanko@shortshorts.org



★第1回旅もじゃ賞

『きたなかスケッチ』（沖縄県北中城村） 2018年 59：00

漫画家の美崎美月は、地元である北中城村（きたなかぐすくそん）を舞台にした作品の依頼を受ける。しかし、なかなか漫画が描けない。美月はダラダラと散策を続け、風景をスケッチするだけの日々を続けていた。一方、地元青年会では伝統芸能「南島（ふえーぬしま）」の人数不足で悩んでいた。本来、「南島」は男性だけの舞踊であるが、断腸の思いで女性も参加させることを決意、しかも嫌がる美月を強引に誘う。こうして美月の「南島」がはじまった。



★第1回旅もじゃ賞

『チムドンドン コザ』（沖縄県沖縄市） 2018年 8：35

主人公は沖縄市にひとり観光に来た1人の女の子。ため息から始まり・・・「泣いてばかりの毎日 サヨナラを告げたい」というフレーズから始まる。ミュージカルの音楽に乗せて、沖縄市／コザならではの観光地・グルメ・ファッションなどを地元の人々と出会い、触れ合っていくなかで、チムドンドン（胸をおどらせる）していくストーリー。本編のラストシーンのエイサーとチアダンス、ミュージカルの融合は圧巻！様々な場面で市民の方も出演し作品を盛り上げています。劇中、次々と現れるコザンチュ美女にも注目です！



★第1回旅もじゃ賞受賞作

『りくべつ 冬』（北海道陸別町） 2018年 8:00

日本一寒い町・陸別ふたたび。今度は冬。でも、道に迷ってしまった、きれいなおねえさん。真白の世界をめぐるロードムービーが完成しました。出演は「りくべつ 夏」に続いて文芸アイドルの西田藍さん。人々と触れ合い、しばれフェスティバルに参加し、オリジナルの詩を執筆。冬まっさかりの陸別をぜひお楽しみください。



★第2回旅もじゃ賞

『蘋果派 APPLE PIE』（岩手県奥州市） 2018年 23:55

N I C Oは迷子だった。答えを探すべく台湾から幼い頃住んでいた奥州市へ。そこには昔と変わらない風景が広がっていた。蘇る思い出と探していた母親の存在がN I C Oの中で一つになっていく。忘れられない思い出の味に出会った時、母の言葉がN I C Oの背中を押す。『不用擔心，一切都會很好的』。



★第3回旅もじゃ賞

『維新 dancin' 鹿児島市2』（鹿児島県鹿児島市） 2019年 3:32

鹿児島市内のさまざまな見どころを、現代にタイムスリップした西郷どんたちがめぐりながら踊るダンスムービー。



★第3回旅もじゃ賞

『となりの岡山田くん』（岡山県） 2019年 18:31

晴れの日が多く、海・山・街並みなど多彩なロケーションがあることから、近年多くの映画などのロケ地として活用されています。つまり、岡山県は映画の都「ハリウッド」ならぬ「ハレウッド」！映画の都・岡山県がお届けするこの作品は、岡山の魅力発信と岡山を元気にしたいという岡山愛に溢れる青春映画風のPR動画です。



★第3回旅もじゃ賞

『きみの待つ未来（ばしよ）へ』（埼玉県草加市） 2018年 15：45

草加市生まれ、現在は東京都内に暮らす主人公・創多。婚約者である美樹との結婚を機に新居を探している。美樹は自分の出身地でもある草加を希望し、創多に新居探しを頼む。「都民って言葉に憧れるんだよね」と週末に渋々草加に戻ってきた創多は、七色に輝く不思議な鳥をみかけ、追いかけた先でアキコに出会う。自分も不思議な鳥を追いかけていたら、道に迷ってしまったと言うアキコを放っておかず、帰り方を突き止めるべく草加市内をめぐる。1日かけてようやく帰り方を見つけた二人はその後、意外な場所で再会するのであった。



★第3回旅もじゃ賞

『印度じゃないよ、印西市』（千葉県印西市） 2018年 1：27

故郷の印度を目指して旅するハリウッド俳優が、間違えて印西市にやってきてしまう。住人たちの不思議な力に感化され、印西愛が覚醒する！！



★第3回旅もじゃ賞

『ヒュー！日向でおじさんサーフィンデビュー ～THREE OJISAN RELAX IN HYUGA～』（宮崎県日向市） 2018年 10：57

世界で一番リラックスできていない人、それは、日本の中間管理職のおじさんかもしれない。そんな都会で懸命に働くおじさん3人を、リラックス・サーフタウン日向にご招待しました。用意したのは、3日間のスペシャルプラン。そう、世界で一番リラックスしてもらうために。今回のムービーではドキュメンタリー形式で3人のおじさんに密着。世界的にも有名な日向の波で、サーフィンデビューしてもらいました。もちろんグルメも温泉も絶景も。



★第3回旅もじゃ賞

『疲れたら、愛媛。』（愛媛県） 2019年 3：40

毎日仕事、今日も残業。お疲れモードのOLの前に突然現れて取り憑こうとする「オツカレ神」。疲れた人に取り憑く「オツカレ神」と離れる唯一の方法は、疲れをとること。でもそれは、栄養ドリンクやマッサージだけでは足りない。心と体を芯から癒すこと。そうつまり、愛媛を旅すること。「お疲れOL」と「オツカレ神」が、「疲れたら、愛媛。」と歌いながら、道後温泉や松山城、しまなみ海道など、愛媛を旅して元気を取り戻していくというストーリーをムードたっぷりのカラオケ風動画で紹介する。

■観光映像大賞（国内）とは

SSFF & ASIAでは、2012年より、観光振興という観点で創造性、振興性、話題性を含んだ観光プロモーション映像に「観光映像大賞（観光庁長官賞）」を授与してきました。の観光映像大賞受賞作品は旅もじゃサイトよりご覧いただけます。 <http://www.tabimoja.com/kankou7/>

<第8回観光映像大賞応募要項>

■応募期間：2018年8月1日（水）～2019年2月28日（木）

■参加費：無料 ■参加対象者：不問 ■作品の長さ：60分以内（エンドクレジット含む） ■制作年：不問

■対象作品

・日本全国47都道府県で制作された観光プロモーション映像・映画・ビデオ

・“観光や地域振興”という観点で創造性、振興性、話題性のある作品

・CM的な要素を含みながら、見た人にインパクトを与え、心を打つ作品

・各地域の自治体、団体（組合等）、企業（旅行会社、広告会社等）、個人が制作・保有している作品

・使用した楽曲等についても、ウェブ配信やイベント上映などが権利上可能な作品

■賞：観光映像大賞（観光庁長官賞）

2018年8月1日（水）～2019年2月28日（木）の期間に応募された映像作品より1作品選出（予定）

※ショートショートフィルムフェスティバル & アジア 2019年5月29日（水）～6月16日（日）オープニングセレモニー（5月29日）にて賞状を授与。

■旅もじゃ賞とは

観光映像大賞の応募作品をはじめとするご当地プロモーション映像をメインコンテンツに、ご当地キャラによる地元紹介や映像ロケ地情報など、全国各地の情報を様々な視点から掲載するご当地まとめサイト「旅もじゃ」が、年に複数回、ご当地の魅力を面白味のある映像表現で伝える作品を対象に、観光映像大賞応募作品の中から独自に選定決定し、発表しているアワードです。

<http://www.tabimoja.com/>

■ショートショートフィルムフェスティバル & アジア（SSFF & ASIA）について

俳優の別所哲也が代表をつとめる米国アカデミー賞公認・アジア最大級の国際短編映画祭。1999年に東京・原宿で誕生し、これまでに延べ40万人を動員。

初年度は映画『スター・ウォーズ』で有名なジョージ・ルーカス監督の学生時代のショートフィルムも6作品上映し、その後も毎年応援を頂いています。

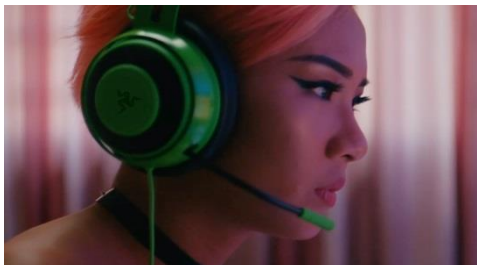
<http://www.shortshorts.org/>

海外観光映像大賞ファイナリスト 5作品 (タイトルのアルファベット順)



『Meet South Africa. Bheki the Mbhaco Maker.』
(南アフリカ) 2017年 10 : 15

南アフリカの伝統衣装を作るベキに人生最大の壁が立ちはだかる。インスピレーションを探しに町中を探索するベキ。彼は新たなアイディアに出会うことができるのか？



『Singapore: The Impossible Story』
(シンガポール) 2018年 1 : 15

世界中の改革者や企業家、先駆者たちが集うグローバルビジネスの中心都市、シンガポール。そんな、世界のあらゆる疑問に挑むことが大好きなヤツらの特別な場所、シンガポールの驚くような物語ををあなたも探求してみては？



『The 72 Hour Cabin in Sweden - Short documentary』
(スウェーデン) 2018年 5 : 00

西スウェーデン・ダールスランド地方の大自然で行われたある「心地の良い」実験。オーダーメイドのキャビンの中で最もストレスのたまる仕事をしている5人が72時間スウェーデンのライフスタイルを体験する。滞在中、リサーチャーが5人それぞれのストレス発散数を計測。結果はいかに？



『The Proud Experience』
(ノルウェー) 2018年 5 : 42

ノルウェーの首都・オスロをカディア、アンナ、クララの3人の視点から見る。3人がオスロに招かれた目的は国内最大規模のLGBTQパレード「プライド・パレード」に参加するためだ。歌と踊りに囲まれながら地元住民と交流し地元で人気のスポットや観光地を巡る旅の記録。



『Tourism Australia Dundee Super Bowl Ad 2018
w/ Chris Hemsworth and Danny McBride (Extended)』
(オーストラリア) 2018年 1 : 30

伝説の男がアウトバックに帰ってきた！今回のダンディーはハリウッド映画ではなく、オーストラリア政府観光局の広告映像です。

■ インターナショナル観光映像大賞とは

国内に続き、2017年からスタート。

「海外」の優れた観光プロモーション映像・動画を日本に紹介するアワード。

海外の事例から学ぶことで、国内の地域プロモーション映像の発展に貢献することを目的としています。

日本を除く世界各国で制作された作品で2017年以降の制作作品が対象となります。

本年より、Visit Japan大使のほか、旅の情報メディアの代表にも協力いただき、作品を審査しています。

観光映像大賞に関するお問い合わせ：ショートショート実行委員会 青目

TEL : 03-5474-8844 / FAX : 03-5474-8202 E-mail : kanko@shortshorts.org



Time Out Tokyo代表 伏谷博之

ORIGINAL Inc. 代表取締役 タイムアウト東京代表。島根県生まれ。関西外国語大学卒。大学在学中にタワーレコード株式会社に入社し、2005年 代表取締役社長に就任。同年ナップスタージャパン株式会社を設立し、代表取締役に兼務。タワーレコード最高顧問を経て、2007年 ORIGINAL Inc. を設立し、代表取締役に就任。2009年にタイムアウト東京を開設し、代表に就任。観光庁、農水省、東京都などの専門委員を務める。

【総評】

取り上げるテーマやその表現手法が作品ごとにユニークでとても楽しく審査をすることができた。今すぐ、審査を放り出して旅に出たいという衝動も。その街の魅力を単にコンパイルして見せるのではなく、今なぜここを訪れるべきなのかというテーマがしっかりと軸におかれていることで、鑑賞後に共感が呼び起こされ、「行ってみたい」という気持ちが湧いてくる。グローバルにこの共感を生めることは大きなポイントだろう。10日もあるゴールデンウィークに旅の予定はないが、今回の審査に携わったことで気分は世界をぐるっとひと回りしてきた気分。感謝。



TABIZINE編集長 山口彩

1974年京都生まれ。日本大学芸術学部卒業。編集・ライター職を経て2015年1月より、旅と自由をテーマにしたライフスタイル系メディア『TABIZINE（タビジン）』編集長に就任。可愛いものとおいしいものとへんなものが好き。いつか宇宙に行きたい。

【総評】

驚き、笑い、憧れ、感動。そうして心を揺さぶり、生まれた隙間にメッセージを届ける。私にとってそれが広告であり、観光映像にも期待するところです。今回初めて審査をさせていただきましたが、“観光映像を審査している”ことを忘れ、その国に心が飛ぶ瞬間が何度もありました。海の向こうのあの国の、知られざる魅力、真の魅力に出会える観光映像、たくさんの人に観ていただきたいです。そしてこれからも人生に、旅心を。



TABIPPO代表取締役 清水直哉

21歳で世界一周のひとり旅を経験。帰国後、旅路で出会った仲間とTABIPPOを創設。新卒でオプトに入社した後、26歳で独立を決意。TABIPPOでは「旅で世界を、もっと素敵に」を理念として、事業を多角展開。「旅するように働き、生きる」を組織の指針として、管理がないフラットでオープンな経営を目指す。

【総評】

僕らの会社は、世界中を旅する人を文化が日本に根付き、世界を少しでも素敵なものにしていくために事業を続けてきました。今回、5つの映像作品をじっくりと観させて頂いて、改めて「観光」という分野における「映像」という表現方法が重要なのかを感じることが出来ました。そして、それぞれの映像では「心が動く」瞬間がうまく表現されており、どれも素敵な作品ばかり。僕らはその瞬間を感じるために旅を続けているのだと、改めて感じる事が出来ました。これからも世界中を旅する価値を上げることで、旅を広めていきたいと思っています。



トリップアドバイザー代表取締役 牧野友衛

AOL、Google、Twitterなどで製品開発や業務提携、利用者数拡大を担当し、Twitterでは成長戦略の責任者として国内での普及に尽力。2016年9月より現職。総務省、農水省、東京都などの専門委員も務め、イノベーション・戦略・マーケティングの観点からアドバイスを行っている。東京都出身。

【総評】

どの作品も映像作品としてのクオリティが高く、それぞれの国の魅力を紹介していく形ながらも、その方法やテイストが見事に異なっていて、その違いを楽しむことも出来ました。そして、どの国も訪れてみたくなる作品の数々でした。